

辟雍会通信 神奈川県支部便り No.9

新年度を迎えて、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。学校行事は少しずつ回復して、在宅勤務も出勤に戻りつつあるかと思えます。保育園や幼稚園の休園や、学級閉鎖もまだ実施されているようです。神奈川県の感染者数は2000人を前後していますが、感染、濃厚接触により在宅を余儀なくされている方もいらっしゃるようです。検査数の減少による数字では、とも不安は必ずしも解消されていないのが実感です。



前年に引き続き、神奈川県支部総会の歴史を辿ります。2016年11月に第6回総会（左下）、2017年8月バーベキューでの親睦、同年11月に第7回総会を行いました。

2016年第6回の総会後は「発育期の運動について」と題して、幼児からの運動能力の獲得について、事務局の原が話題を提供させて頂きました。



2017年の第7回総会の後には、会員の松原理先生（当時 JAXA）に「宇宙教育の考え方：地域の学校にどのように貢献できるか、どんなプログラムを組むか」というお話、そして『宇宙飛行士になる適性は協調性やコミュニケーション能力でという観点

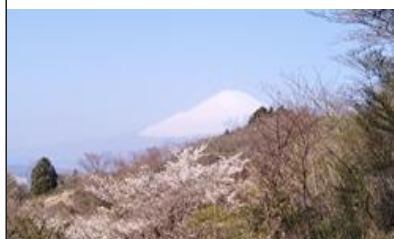
から、興味深い実習「みえている図と同じ図をことばだけで正しく伝えられるか」を指導して頂きました。写真の上にある図形を見て、言葉で下のパーツを使って組み立てるよう伝えます。言った通りには、置いてもらえないもどかしさを感じました。



2017年8月のバーベキュー親睦会



山北の高松山登山道から、山桜と富士山



辟雍会神奈川県支部の FACEBOOK (<https://www.facebook.com/TGU.hekiyo.kanagawa/>) にも辟雍会通信No.9を支部版を掲載していますのでご覧ください。閲覧されたら「いいね」と合わせてコメントもお願いします。辟雍会神奈川県支部事務局 原英喜: oyo5.hhara@gmail.com